

case  
18

建設業界における新しい防水工法の技能を標準化  
エンドユーザーからの信頼度向上と  
施工技能者の意識改革に寄与  
単一等級から複数等級に規程を変更した

# スプレーウレタン・ ウレア工業会

- ◆企業名  
スプレーウレタン・ウレア工業会
- ◆設立年  
平成21年
- ◆本社所在地  
東京都新宿区
- ◆業種  
建設業・防水工事業
- ◆加盟社数  
87社(平成30年5月末現在)

- ◆名称…SUK超速硬化ウレタンスプレー施工社内検定
- ◆対象職種…超速硬化ウレタンスプレー施工
- ◆認定年月…平成25年10月
- ◆受検者数(累計)…単一等級129名(平成30年3月)
- ◆合格者数(累計)…単一等級114名(平成30年3月)

社内検定の構築により、建設業界における防水工法の技能を標準化でき、エンドユーザーから高い評価と信頼を得ている。また、複数等級化したことで、施工技能者が実務経験を積み、今後目指すべき姿が明確となり、キャリアプラン(将来の目標)を持って働くことにつながるなど、人材の確保・育成・定着におけるプラスの効果も期待している。

## (1) 社内検定制度の概要

スプレーウレタン・ウレア工業会(以下「SUK」という)は、「スプレーウレタン・ウレア工業会社内検定」について、平成25年10月に厚生労働大臣の認定を受け、単一等級による試験を開始した。平成30年3月、難易度が分かれていない単一等級から、難易度により1級・2級に等級を分けた複数等級に規程に変更、名称を「SUK超速硬化ウレタンスプレー施工社内検定」とした。

本検定では、超速硬化ウレタンスプレー専用吹付け機による吹付け工法により、所定の膜厚で吹き付けるために必要な知識と技能を測ることとしている。各級の受検資格は、2級が実務経験3年以上、1級が7年以上となっている。

## (2) 背景・目的

建築物の防水工事をした場合は、防水性能を保証することとなっており、その防水性能の品質を確保するうえで、塗膜厚の確認は重要な要素となっている。超速硬化ウレタンスプレー工法は、超速硬化ウレタン

スプレー材料を、専用吹付け機を用いて吹付けることで高品質で高物性の塗膜を作り出すことができる。漏水などの防止のため防水層の塗膜厚の確保は重要であり、施工技能者には専用吹付け機の正しい操作技能と高度な吹付け技能が求められる。超速硬化ウレタンスプレー工法の需要拡大と、建設の偽装問題により品質管理を問われた時代背景も相まって、これまで親方・職長が伝承してきた経験的な技能について標準化するため、社内検定を構築した。



### (3) 構築前後の取組

#### ① 認定前

SUK事務局に社内検定実施準備委員会を設置し、技能検定に携わっている委員など外部からの知識や技能を積極的に取り入れ、社内検定の構築に向けて取り組んだ。実技試験における客観性や公平性を担保するため、試験架台の製作や塗膜厚の測定方法などの確立に向け、検証を重ねた。検定の構築の過程において、内部でノウハウを持っていない場合は、類似の技能検定や社内検定に携わる社外の人からの協力を得ることは重要であった。

#### ② 認定後

社内検定運営委員会事務局が中心となり、総務部会、試験基準部会、検定実施部会の3部会を設置し、検定運営の精度向上に取り組んでいる。

また、超速硬化ウレタンスプレー工法の進展と業界構造の変化を背景に、企業における人材育成や能力開発のあり方にも変化が見られていることなどを鑑みて、約1年6か月の期間をかけ、複数等級化に向けて検討を進め、平成30年3月に規程を変更した。平成31年より1級、2級の複数等級にて試験を開始する。



### (4) 人事制度・待遇面との連携

SUKでは、総会および支部情報交換会（全国6支部）で、本検定の実施状況と結果報告を行い、会員企業に対して、検定合格者に対するインセンティブ・報酬増加などの付与を盛り込んだ啓発活動を行っている。

また、検定合格者をSUKのホームページ上に掲載、さらに、実技試験の高得点者については「優秀合格者」として総会で表彰、記念品を贈呈することで、検定合格者の地位の向上につなげている。

### (5) 構築の効果・メリット

#### ① 社内検定構築に取り組んだことによるメリット

技能の伝承は、一般的に親方・職長の経験知に頼っているところが見受けられるが、検定の構築により、建設業界における防水工法の技能を視覚的にわかるよう標準化した。それにより、施工技能者は「厚みをつけるためには、どのくらい縦横にスプレーを吹くことが必要であるか」などを意識するようになった。

また、複数等級化に取り組んだことにより、施工技能者が実務経験を積み、今後目指すべき姿が明確となり、超速硬化ウレタンスプレー工法の職種における技能形成の目標が明確となったことは、大きなメリットである。

施工技能者は、実務経験3年以上で2級を受検し、見習いから一人前になった「あかし」を得ることができ、実務経験7年以上で1級を受検し、親方・職長として認められて後輩指導もできるようになる。検定の構築は、施工技能者が「〇年後どんな自分でありたいか」という目指すキャリアを実現するために目標を持って働けるきっかけとなっている。

#### ② 社内検定を構築し認定を受けたことによるメリット

検定合格者は、正確で精緻な施工ができる技能を有し、エンドユーザーのニーズに応えることができる施工技能者であることを明確にするため、大手建設会社技術部、大手設計事務所に対し、設計仕様書の段階で、駐車場や屋上の防水工事は、SUK超速硬化ウレタンスプレー施工社内検定の合格者による施工である旨明記することを推進する活動を行っている。

高い技能は品質の信頼度向上となり、受注機会が増加するなど、社内検定制度の社会的な認知度の向上につながっている。

本検定の複数等級化での試験はこれからであるが、施工技能者の人材の確保・育成・定着におけるプラスの効果も期待している。